可動ルーバー面格子

ツバーサ TSUVA-SA® AK/UT

（内倒し・内開き窓専用）

取扱説明書

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様が末長く適正な使用をしていただくための説明・注意事項が記載してありますので大切に保管しておいてください。この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前には、この取扱説明書をよくお読みください。
引っ越し等により転出される場合は、この取扱説明書を次期入居者または、管理人に必ずお渡ししてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または製品の寿命をいちじるしく短くする可能性が想定される」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

⚠注意

■留守をされる時、またはお休みの時は、防犯上羽根の可動位置は全閉にされることをお勧めします。

■長期間羽根可動操作をしないと、スムーズに作動しなくなるおそれがあります。少なくとも1ヶ月に2～3回は開閉してください。

■羽根可動時に、部品・部材の摩擦による音が発生することがあります。経年による油ぎれや、ごみ又はほこり・異物による可能性があります。そんな場合は、ほこり等をふき取り、軸・レバー部に市販のシリコンスプレーで注油してください。

■強風時は振動により音鳴りが発生する場合がありますので、窓を閉めてください。

羽根に物を吊したり、羽根と羽根の間に物を挟まないでください。

・羽根に物を立て掛けないでください。

・羽根の前に物を置かないでください。

羽根を手などでムリに動かしたり、物など差し込んだりして、羽根にムリな力を加えないようにしてください。

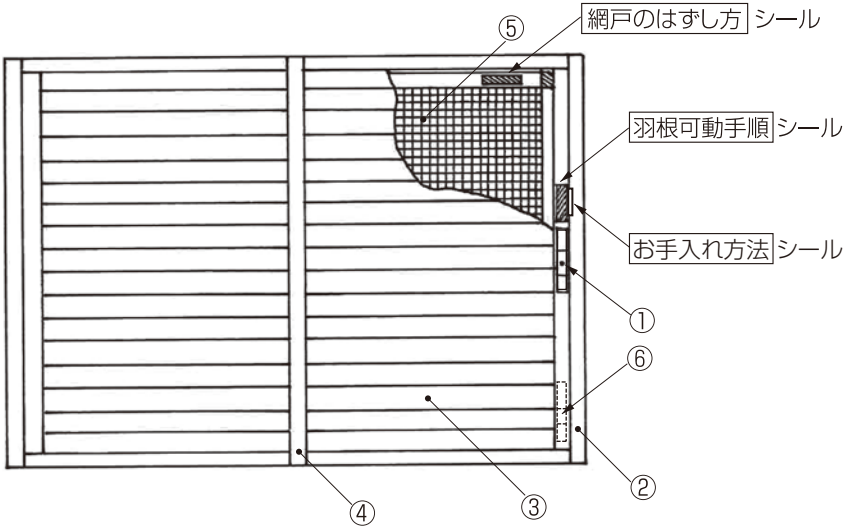
網戸を強く押さないでください。網がはずれたり、壊れるおそれがあります。

網戸には、ライターなどの火気を近づけないでください。

絶対に分解･改造は行わないでください。

各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）



① 羽根可動レバー
※羽根可動レバーは内観左側に付く場合もあります。

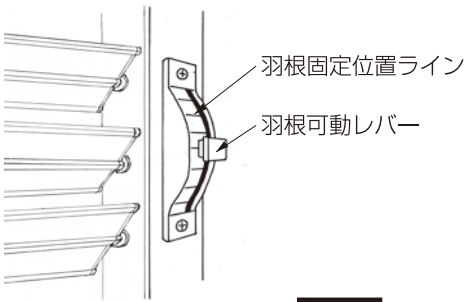
② 本体枠

③ 羽根

④ 中桟（中桟無しもあります）

⑤ 網戸

⑥ 羽根可動レバー
※段窓に面格子が付いている場合、羽根可動レバーが付くことがあります。

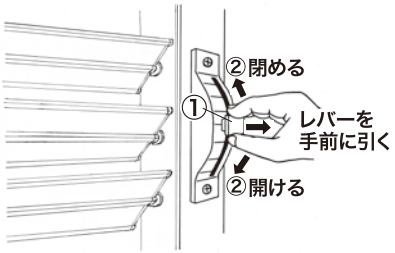


お手入れ方法 シール　　網戸のはずし方 シール　　羽根可動手順 シール

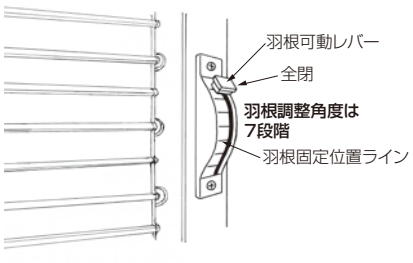
羽根可動の方法

■留守をされる時、またはお休みの時は、防犯上全閉にされることをお勧めします。

羽根可動は「羽根可動レバー①」を手前に引きながら
上・下②に操作してください。

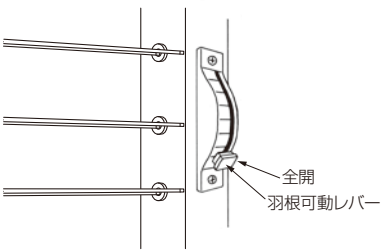


故障の原因になりますので、必ずレバーを手前に引いてから操作してください。



■羽根角度の固定は、羽根固定位置ラインに合せて「羽根可動レバー」を設定してください。レバーが戻りにくい場合はレバーを押し込んでください。

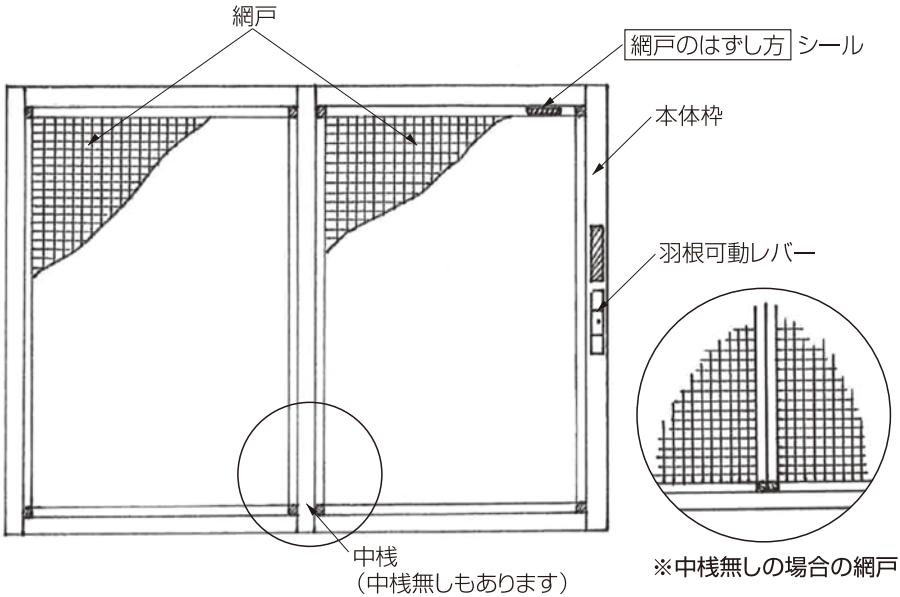
■羽根角度を固定した状態でも、構造上クリアランス（すきま）を設けているため、少しの動きが発生しますが、故障ではありません。



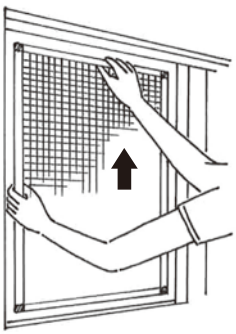
■羽根と羽根に隙間がありますので全閉時でも、隙間から光漏れがあります。

網戸の取り外し方

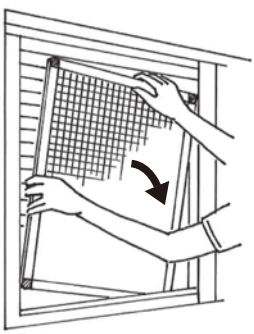
■本製品は面格子に網戸が一体化されています。
網戸のお手入れや交換時、室内から簡単に取り外しができます。



1 網戸の枠を持ち、上に持ち上げてください。



2 網戸を手前に寄せると外れます。

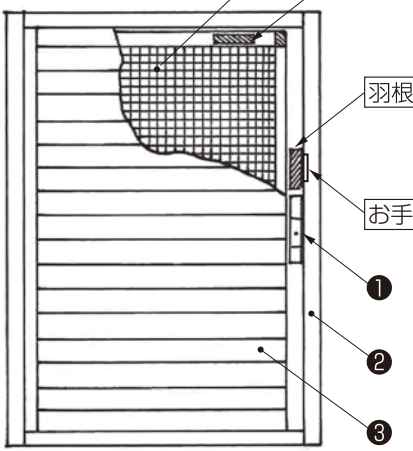


■「網戸のはずし方」シールの貼ってある網戸が内観右側です。
■網戸の取付は逆の手順で行ってください。
■中桟無しの場合、網戸は室内より向かって**右側**から取り外してください。
取付ける場合は、向かって**左側**から取付けてください。

ツバーサUT
TSUVA-SA®
（内倒し・内開き窓専用）

各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

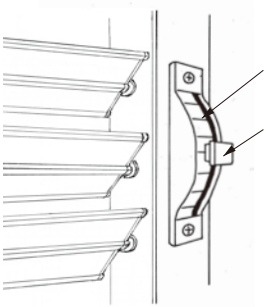


❶ 羽根可動レバー
※羽根可動レバーは内観左側に付く場合もあります。操作方法は3ページをご覧ください。

❷ 本体枠

❸ 羽根

❹ 網戸



羽根調整角度は7段階

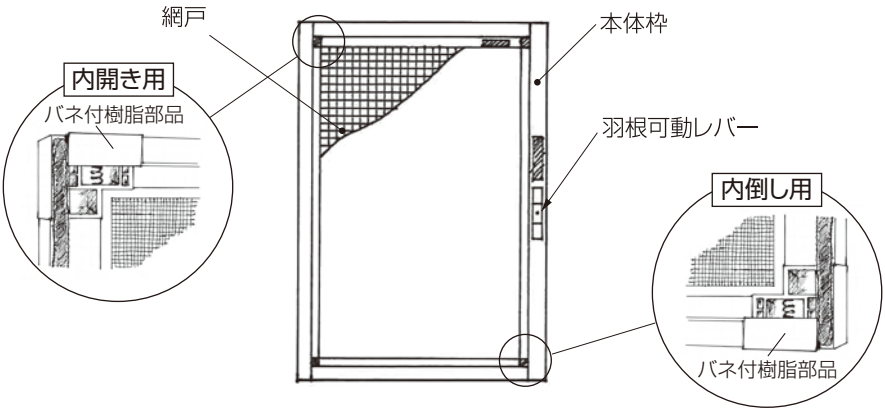
内倒し窓用

内開き窓用

お手入れ方法 シール　羽根可動手順 シール　網戸のはずし方 シール

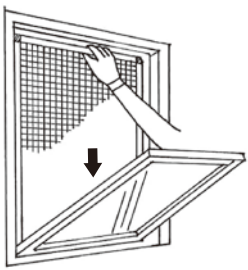
網戸の取り外し方

■本製品は面格子に網戸が一体化されています。
網戸のお手入れや交換時、室内から簡単に取り外しができます。

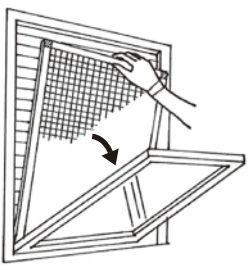


●内倒し窓

1 網戸の枠を持ち、下に
押し下げてください。

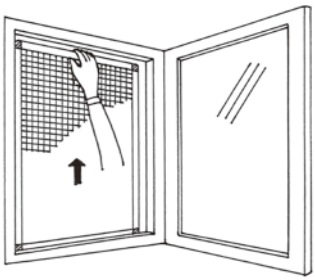


2 網戸を手前に寄せると
外れます。

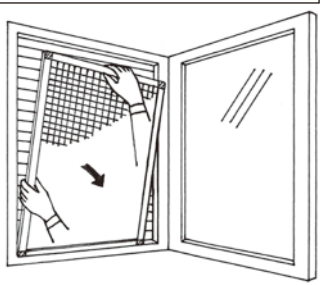


●内開き窓

1 網戸の枠を持ち、上に
押し上げてください。



2 網戸を手前に寄せると
外れます。



■網戸の取付は逆の手順で行ってください。
（網戸が本体枠に確実に取り付けられているか確認してください、取り付けが不十分な場合脱落することがあります。）
※足元に十分気をつけて作業をしてください。

日頃のお手入れについて

日頃のお手入れは、製品を長く、安全にご使用いただくために大切なことです。

■面格子はアルミニウム及び樹脂で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ、雨水等は腐蝕の原因になります。又、部材の摩擦により羽根可動や開閉操作が重くなりますので、定期的に掃除してください。

■海岸地帯や交通量の多い地域は、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れの方法

■上下の枠 および 羽根の両面には、ほこり、ごみ、異物などが付きやすいので、化学モップなどで 念入りにお掃除をしてください。

■洗剤をご使用の場合は、中性洗剤を薄めてお使いいただき、その後カラ拭きをしてください。

網戸のお手入れ

■電気掃除機をご使用の場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて、軽くこするようにして吸取ってください。

■汚れのひどい場合は、網戸の両側から中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落としてください。
汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどで拭き取ってください。

◎網戸の防虫網の交換については、市販の引違い窓用の網を購入していただき、お客様が交換することもできます。網の張り替え作業は、一般の網戸と同様におこなってください。

故障かなと思ったら

■次のような場合は故障ではありません。もう一度お調べください。

こんなとき	調べるところ	なおし方
羽根が動かない。	羽根可動レバーを手前に引きながら操作しているか。	羽根可動の手順に従い操作してください。
	羽根可動操作手順通りに操作しても動かない。	ほこり等をふき取り軸部に注油する。
羽根を開閉すると異常音がでる。 	羽根の回転軸部。 （湿気やほこりが付くことにより、羽根回転軸部からこすれる様な音が発生する場合があります。）	ほこり等をふき取り、軸部とスリット部に市販のシリコンスプレーで注油する。
網戸が取付けられない。	網戸の向き。	バネ付樹脂部品の上下を確認する。

■それでも異常がある場合は、お買い上げ店（工務店）または当社までご連絡ください。

株式会社ナカムラ
〒660−0803 兵庫県尼崎市長洲本通1−11−10
TEL.06-6488-0801 FAX.06-6488-3363
http://www.tobide-ru.com/

2015.8.17